

日立H&Lと日立空調の合併

日立空調システム
と関連会社で働く
人のネットワーク



2006年1月
No.14

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL(FAX)
0543-65-0433

労働条件の切り下げはゴメンだ

日立空調システムと日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション（日立H&L）との合併が発表され、職場説明会が行われました。日立H&Lは02年に設立以来、一度も赤字になったことがない赤字会社です。その損失額は百億円以上に及び、早期退職などによるリストラが行われました。

労働条件は、賃金については日立H&Lは日立製作所と同レベルということ、日立空調システムよりよくなっています。一時金は日立H&Lの方が0.5ヶ月低くなっています。

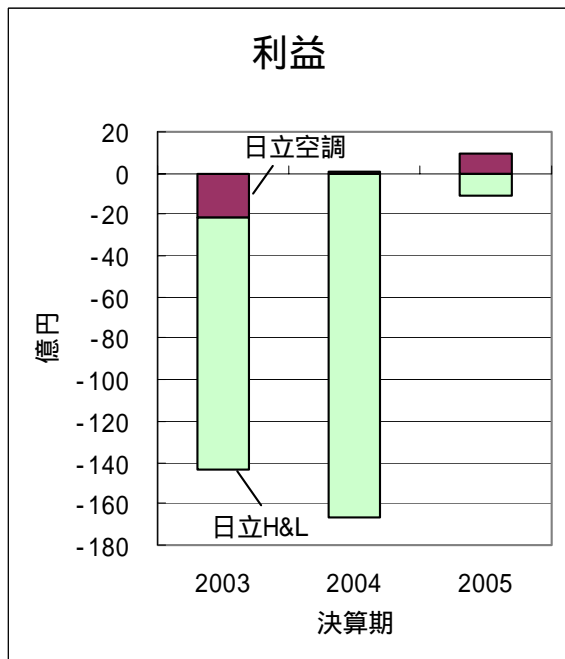
今回の合併で、販売指令機能は日立製作所が担うことになり、業績悪化を理由に、新会社の労働条件

元栃木工場では

ルームエアコンや冷蔵庫を作っている元栃木工場では、2年前に早期退職が行われ、約半数の人が退職しました。日立H&Lに将来性がないことが語られ、30代～50代の幅広い人が辞めて行きました。

件を切り下げることが許されません。

6年前に分社化されて後、業績悪化を理由に賃下げや一時金の削減をはじめ、さまざまな労働条件切り下げが行われました。日立空調システムの業績が回復した今こそ、日立製作所と同等な労働条件に戻すべきです。



利益 (億円)		
年	日立H&L	日立空調
2003	-121	-22
2004	-167	1
2005	-11	9

(東京商工リサーチ企業情報より)